



院内感染対策ニュース

第76号 2019年12月18日

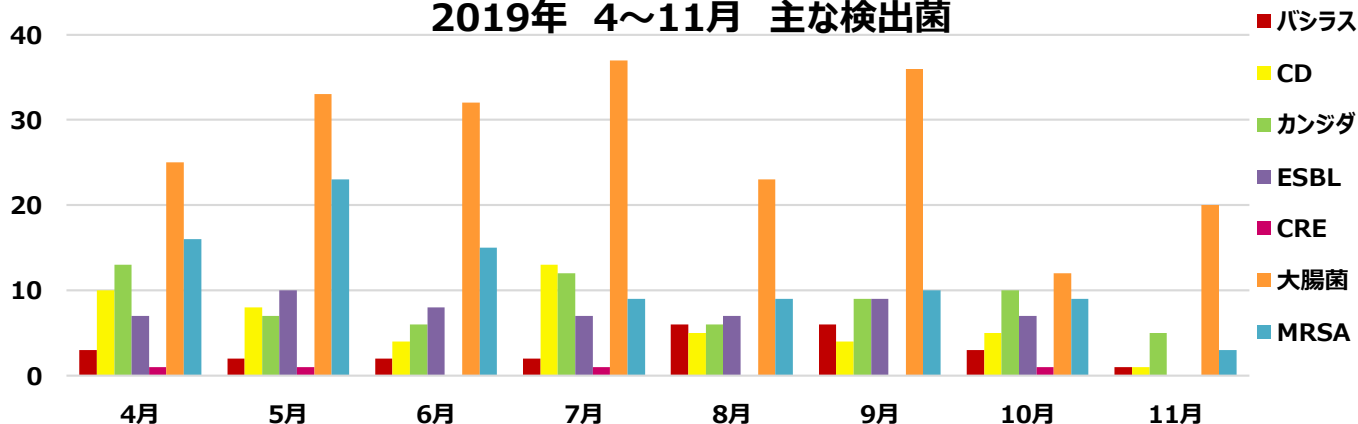
院内感染対策委員会

今年も1年お疲れ様でした！

院内感染対策ニュースを毎月発行するようになって早数年。今年も1年間、休むことなくニュースを発行することができました。毎回読んでくださる方、誤字を見つけて教えてくださる方などたくさんの方に見ていただけたのかなと喜んでおります。

今年も残すところ1か月を切りました。みなさんはどんな1年でしたか？感染に関して言えば1月のインフルエンザアウトブレイクで始まった1年でした。その後は、アウトブレイクや結核などの空気感染などなく経過できました。本当にありがとうございました。さて、今回は4月以降に検出した細菌などのデータやインフルエンザ発生状況についてお知らせします。

2019年 4～11月 主な検出菌



上のグラフを見ると当院の特徴がわかります。【大腸菌】検出が抜きんでいます。尿路感染や胆石胆嚢炎患者で血液培養から検出されることが多かったです。件数は多くありませんがほぼ毎月検出していたのが【バシラス】。主に血液から検出することが多く、高熱が出ます。バシラスやカンジダ血症では眼内炎のリスクも高くなることからICTでは検出した患者さんに眼科受診をお願いしております。また、バシラスでは末梢ルートから検出することが多く、カロリーの高い末梢から輸液できる製剤から別の輸液を提案させていただくことがあります。医師の方々にはご理解とご協力をお願いします。

【MRSA】は検出数は多いほうですが保菌の患者が多く、感染と判断される患者は多くありません。CDは迅速検査の結果を掲載しています。薬剤耐性菌（MRSA・ESBL・CRE）も毎月検出していますので、標準予防策＋接触感染対策の徹底をよろしくお願いします。

インフルエンザ情報

12/2～12/8

全国
9.52

北海道
25.11

中標津
35.00

帯広
27.50

釧路
16.45

根室
17.33

釧路ではかなり患者が増えてきました。中標津・根室も注意報・警報レベルとなっています。北海道全体でも全国レベルより増加傾向で注意が必要です。実際に札幌方面・首都圏から帰宅後、発症している人もいます。インフルエンザ流行期本番、予防策としてマスク着用、手指衛生をこまめに、体調を整えましょう。ワクチン接種済でも要注意!! 人混みに行く場合はしっかり予防策をとりましょう。



年末年始のお休み中は初詣など人が集まる場所に行く機会が増えます。また、暴飲暴食や睡眠不足など体調が崩れやすくなる危険があります。体調の悪いときは無理せず、きちんと休んでインフルエンザにかからないようにしましょう。

次回もお楽しみに！

良いお年を
お迎え下さい